

『福祉活動促進のための福祉映像祭及び交流会実施プロジェクト』

日本文理大学 工学部 情報メディア学科 小島 康史・星芝 貴行 研究室
 津久見市社会福祉協議会 ・ 津久見市社会福祉課 ・ 津久見市教育委員会
 特定非営利活動法人やまびこクラブ ・ 特定非営利活動法人きらり・つくみ

●事業の目的：近年の少子高齢化や核家族化等の進展により、多様化・複雑化した福祉課題が多く見られるようになってきている。本プロジェクトが対象としている「大分県津久見市」においても、子どもから高齢者まで、年齢や障がいの有無等の違いに関わらず、住み慣れた地域で、ともに支え合い、助け合いながら、誰もが健やかで安心して暮らし続けられる地域社会の実現が求められている。津久見市では、平成 25 年 3 月に策定した第 2 期津久見市地域福祉計画に基づき「地域で支えるみんなの“つくみ”～つなぐ・広げる・続ける～」を基本理念に地域福祉を推進してきており、この策定から5年が経過、計画期間が終了することを受け、多様化する近年のさまざまな課題に対応するため、地域住民・事業者・行政などが、それぞれの役割を果たしながら、より一層、協働による地域福祉を推進するため、第 3 期津久見市地域福祉計画を策定している。本プロジェクトでは、「福祉に関する映画の上映会」を企画することで福祉について多くの市民に関心を持っていただき、あわせて福祉関係者と映像製作者が市民と交流する場を提供し、活発な意見交流を催すことを目的とする。



福祉映画祭上映の様子

●事業の内容：本プロジェクトでは津久見市社会福祉協議会加盟団体の「特定非営利活動法人やまびこクラブ」と「特定非営利活動法人きらり・つくみ」と連携し、右表の日程にて「第 1 回つくみ福祉映画祭」を企画立案し開催した。本プロジェクトを進行させる参考のために「第 25 回ゆふいん文化・記録映画祭」へ出品し、ボランティアスタッフとしても参加した。告知活動として「第 41 回津久見ふるさと振興祭」へ参加した。公式ホームページを作成し、上映作品の募集を行い、下記の5作品を上映することとなった。

実施日程	実施内容
4月～6月	先行研究および全国映画祭等に関する調査
7月7日(金)～9日(日)	第25回ゆふいん文化・記録映画祭へのボランティアスタッフ参加
7月～8月	つくみ福祉映画祭実行委員会立ち上げおよび打ち合わせ
9月19日(火)	公式 SNS・作品公募ポスター制作と公開
9月20日(水)～10月15日(日)	作品募集期間・協賛企業とボランティアスタッフの募集
10月16日(月)～10月22日(日)	上映スケジュール・併催上映イベントの決定
10月23日(月)～10月25日(水)	上映パンフレット制作・トロフィーと副賞の準備・発注
10月26日(水)～11月10日(金)	上映ポスター・チラシの制作と配布掲示、津久見市長への挨拶
11月1日(水)～11月14日(火)	各上映作品のプロモーションビデオ制作・パンフレット制作
11月4日(土)・5日(日)	第41回津久見市ふるさと振興祭への参加・広報活動
11月16日(木)	マスメディア(読売新聞・大分合同新聞)での広報
11月17日(金)	上映会場設営
11月18日(土)・19日(日)	上映会実施・コンペティション・懇親会の開催

《上映作品一覧》

- ① Yokosuka1953
- ② 大分ドキュメンタリー∞学生のまなざし
- ③ 二十歳の息子
- ④ たいせつなひと(仮)
- ⑤ 横須賀綺譚

各作品上映後には、制作関係者を迎えて「トークショー」を実施するスケジュールとした。告知のための「上映ポスター・チラシ」は右図のように制作した。また、読売新聞社と大分合同新聞社の取材を受け、広報活動を行った。更に会場で無料配布する、作品及び監督を紹介する「パンフレット(A4サイズ・8ページの冊子)」の作成も行った。

●事業の成果：実施会場の候補として700名収容の「津久見市民会館大ホール」が挙がったが、第1回の実施のため集客に不安があるため、同施設の70名収容の会議室とした。会場には150インチのスクリーンとフルHD表示が可能なプロジェクターを設置した。会場のカーテンは遮光のものではなかったため、全ての窓に暗幕を貼って対応した。また、後方からも見やすくするために、舞台上で使用される平台(合唱等でも使用される山台)を用意し、座席の高さを前方から後方に向けて段々と高くするようにした。会場、準備したトロフィー、司会、トークショー、川野幸男市長(当時)の挨拶の様子は右の写真のようである。来場者数は右表のようになった。また、来場者には簡単なアンケートを取り、回答数は142件で、その結果を右図に示す。このアンケート結果から「福祉について知ることができた」、「ぜひ来年も実施してほしい」とのコメントを頂いた。また市長からも「これから10年この映画祭を続けていって欲しいそのためにも1回目はとても重要だ」とコメントを頂き、本プロジェクトは成功したと言える。そしてこのノウハウを後輩に継承することが非常に重要といえる。



上映会場の様子

準備したトロフィー

来場者数	延べ人数
1日目	132名
2日目	114名
トータル	246名

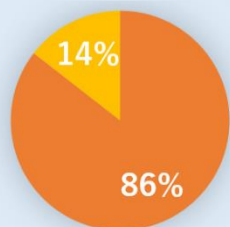


司会の様子

トークショーの様子

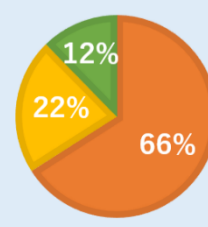
市長挨拶

映画上映で福祉に関心を持ってもらうことについて



- 良いと思う (86%)
- おおむね良いと思う (14%)
- あまり良いと思わない (0%)
- 良いと思わない (0%)

第二回があれば参加したいか



- 参加したいと思う (66%)
- おおむね参加したいと思う (22%)
- 時間が取れば参加していいと思う (12%)
- あまり参加したいと思わない (0%)
- 参加したいと思わない (0%)